

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

久礼市街地周辺地区

平成24年2月

高知県中土佐町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	久礼新港・ふるさと海岸への来客数	人／年	19,000	25,000	19,600	確定 見込み	● ●	△	あり なし	21,350	H23年4月	△	久礼新港においての定期市が、他のイベントに変更となったことにより、目標値に届かなかった。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	当事業で策定した久礼新港背後地利用計画は、H24年度には施設整備に向け設計を行う予定である。経営計画の指標では、年間来場者数は20万人。
指標2	黒潮本陣への来客数	人／年	12,000	13,000	12,431	確定 見込み	● ●	△	あり なし	12,183	H23年4月	△		☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	景気に左右されるホテル経営であり、宿泊者数は流動的である。
指標3	久礼地区自主防災組織の立上げ	地区	6	20	17	確定 見込み	● ●	△	あり なし	17	H23年4月	△	目標値には届いていないが、従前値6→確定値17の達成は評価される。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	防災対策は、まちの最重要施策と位置づけられており自主防災組織は今後充足されていく。
指標4						確定 見込み			あり なし		H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし		H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	小草ふれあい公園への来場者数	人／年	0		2,400	確定 見込み	●		17,054	H23年9月		公園整備コンセプトが功を奏し、目標値を上回る来場者となった。	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	「ふれあい・交流・健康増進」という事業目的を果たしている。2013年には「ねんりんピックよさこい高知」(第26回全国健康福祉祭)のバークゴルフ競技会場となり、今後益々の交流が見込まれる。
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	久礼新港背後地を核としたまちづくり事業の展開	当事業でまとめられた基本計画をベースとし、事業実行への検討が進められてきた。H23年度には、経営計画を策定中であり、その後、基本設計・実施設計、そして施設建設へと移行する事業予定となっている。	久礼新港背後地事業は、構想から10年が経過する。当事業で基本計画を策定することにより、計画の実現に向けてステップアップが図られた。	久礼新港背後地はウォーターフロントに位置するため、南海地震クラスの津波が発生した場合、被害は免れられない。この場所にあつて、産業振興、地域振興といった視点で防災対策ともあわせた計画として整理し、住民等の理解を得ることが必要。
	小草ふれあい公園の利用促進	開園以降、公園の利用促進への積極的なPRを行ってきた。町内でのパークゴルフ愛好会「小草会」も設立された。各大がを開催されている（小草会月例会、オープン記念日大会、議長杯、町長杯、教育長杯など）。	計画当初の目標を上回る来場者となっている。2013年には、「ねんりんピックよさこい高知」（第26回全国健康福祉祭）のパークゴルフ競技会場となり、今後益々の交流が見込まれる。	当面は、「ねんりんピックよさこい高知」の開催に向けた取り組みを図っていくが、この好評な状況を保つためには飽きられることのない運営を企画していく必要がある。
	地震津波非難計画をベースとした事業の実行	久礼の港付近市街地の避難困難地への避難階段デッキ整備、都市防災事業では避難地である久礼小学校への避難路整備に取りかかった。	地域住民の防災意識の向上が図られ、避難路の整備着手により避難困難地の解消が図られる。	久礼地区は沿岸部にあり、今後においては計画性のある早急の防災対策が必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	「鯉乃國・中土佐町」として地域振興に取り組んできたが、過疎化・高齢化とともに第一次産業が低迷し地元商店街が衰退傾向にある	■まちの賑わい創出 まち中の空き店舗を利用し、国の重要文化的景観として認定された久礼の漁師まちの景観や四万十の景観をPRし、併せて観光PRを行ってきた。 ■第一次産業の振興 久礼新港背後地の施設計画の中では、観光・物産販売（直売）所を設けている。また、加工部門では海・農の食材を生かした商品（案）を整備された、小草ふれあい公園は「交流・ふれあい・健康増進」を目的としており、開園後には積極的なPRをおこなってきた。	■まちの賑わい創出 空き店舗は、町内で一番賑わう久礼大正町市場よこでの休憩所として利用。多くの観光客などへの文化的景観のPRが行われた。 ■第一次産業の振興 直売所については、助走として地域農産物を中心とした直売所を試験的に開設し、集出荷販売体制が確立された。 小草ふれあい公園は、パークゴルフ場と、ふれあい広場で構成される。パークゴルフは町内で愛好会が生まれた。ふれあい広場は、多くのファミリーでにぎわいをみせている。	久礼新港背後地施設は、まちの重要施策と位置付けられる事業である。「地産振興・福祉交流施設」の名のもとで計画される施設は、温泉・海辺の農家レストラン・みなと食堂・観光物産販売所・加工所・イベント広場等で構成される集客施設であるが、同時に情報発信拠点でもあり、新たな来訪者を町なかにも誘導し商店街の賑わいを生むことを目的としている。
	町民のふれあい、また観光交流の空間の場が町に整備されていない	整備された、小草ふれあい公園は「交流・ふれあい・健康増進」を目的としており、開園後には積極的なPRをおこなってきた。	小草ふれあい公園は、パークゴルフ場と、ふれあい広場で構成される。パークゴルフは町内で愛好会が生まれた。ふれあい広場は、多くのファミリーでにぎわいをみせている。	公園への来場者を、まち中に導き入れ、滞在時間を長く過ごしてもらえ流れの仕組みをつくること。
	久礼地区の次期南海地震への具体的な対策が施されていない	計画に基づき、都市防災事業等を導入し津波地震対策への事業に着手。	地域住民の防災意識の向上が図られ、避難路の整備着手により避難困難地の解消が図られる。	地域住民の防災意識はかなり高くなったが、久礼地区での自主防災組織率を加速させる取り組みが必要である。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	高知県	市町村名	中土佐町	地区名	中土佐町久礼市街地周辺地区	面積	380 ha
計画期間	平成19年度～平成21年度	交付期間	平成19年度～平成21年度				

目標 大 目 標：「久礼地区の観光拠点ネットワークの再構築と、港のなりわい復活プロジェクト」～合併後の地域振興戦略と安心のまちづくり～ 目標1：官民協働による“久礼の観光資源”を活用したまちづくり 目標2：町民の健康増進・交流のまちづくり 目標3：安心して暮らせるまちづくり							
目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ・久礼地区は、港（港湾施設）をなりわいとした海運業や、土佐の鯉船団に代表されるカツオ漁、大正時代から続く久礼大正町市場、また土佐の三大祭の一つである「久礼八幡宮大祭」（600余年の歴史）が執り行われるなど、集客力のある土地柄により賑わいをみせた。また、昭和51年から16年間にわたり連載された漫画“土佐の一本釣り”（漫画雑誌ビッグコミック）などにより知名度を高め、観光交流に恵まれてきた。しかし、町の過疎化、高齢化の時代の波の流れの中で大型鯉船団はその多くが廃業を余儀なくされ、地元においても後継者不足と高齢化による漁業の低迷で、ひと頃の賑わいが失われつつあった。そのような中で、町では地域の振興を図るため、平成4年にまちづくり小委員会（構成員80名）を組織し地域振興懇談会での協議を重ね、“新しいまちづくり構想”をまとめた。町の主人公を『鯉』と定め、これより、『鯉乃國』の物語が始まることとなる。 ・【かつお祭】ふるさと創生1億円で純金カツオを作り、記念で開催された“カツオ祭”は、平成18年で16回（年1回）を数える。約15,000人の来客が1日に2トンのカツオを平らげる町内最大のイベントである。 ・【黒潮本陣】平成5年度、「黒潮のめぐみ体感プロジェクト」を策定。国土庁の補助事業（戦略かつ重点プロ）等を導入し、公共の湯宿として平成8年12月に開業。同敷地にある「黒潮工房」は、鯉のタタキをメインとした食事処であり、希望者にはタタキづくりが体験できるなど、現在は同町の観光交流の拠点施設となっている。 ・【鯉乃國情報発信事業】平成7年に“鯉のタタキ・キャラバン隊”を発足。専用トラックを構え、以降、県外各地のイベントに出向き、本場の生鯉わら焼きタタキの実演販売とともに町のPRに努めている。 ・【久礼大正町連合商店街組合】平成9年、中土佐地区商工会地域活性化対策事業により、同組合の再編を図る。テーマを昭和30年代中頃の復活に掲げ、鯉のまちの商店街という視点でイメージを統一。商店街お楽しみ買物絵図パンフレットの作成や商店街の回廊を整備するとともに、「門前市」（年1～2回）、「土曜夜市」（年1回）、「八幡様前見世」を開催するなど観光交流の場所として取組みを進めてきた。商店街組合の核となる大正町アーケードは、平成15年度に魅力ある商店街づくり助成事業により、老朽化した市場アーケードをリニューアル、観光振興の場づくりをおこなってきた。 ・【久礼新港プラン】平成12年3月、久礼新港背後地を本町並びに久礼地区の地域振興・活性化の核と位置づけ、久礼新港プラン（基本構想）を策定。新港プランは、合併協議会において策定された新「中土佐町」建設計画の中の推進する重点プロジェクト。 ・【地域防災】次期南海地震による大きな被害が予測される久礼市街地は本町で最も人口の集中するエリアであり、16年9月には「南海地震時における道路機能調査」が実施された（高知県モデル調査）。							
課題 課題1：これまで、久礼地区は観光立地条件に恵まれてきた。また、今日まで「鯉乃國」中土佐として地域の振興施策を進めてきたが、町の過疎化・高齢化とともに第一次産業の低迷と、近隣を含む大型店舗の進出などにより地元商店街が衰退している。 課題2：久礼市街地エリアには、地域住民、観光客等の憩える場所がない。「平成18年度・新町土地利用計画」策定の中で実施された土地利用に関する住民アンケート調査の結果、久礼地区住民の公園整備を望む声（14.9%）があり、町民の健康増進と観光客とのふれあいの場として、また観光交流の場づくりとして公園の整備が必要である。 課題3：地域の防災対策として、平成18年度に「地域防災計画」を策定予定であるが、具体的な避難計画までを策定するまでに至らない。同上アンケートの結果でも防災対策を望む地域の声は上位にある。防災避難計画を策定するとともに、避難路・避難地の整備が必要。							
将来ビジョン（中長期） ・新「中土佐町」建設計画（平成17年9月）においては新しいまちづくりの基本理念を「自立・協働」とし、住民と行政の協働作業によるまちづくりを目指しており、住民自治組織づくりを推進する。また同計画において久礼地区では「鯉乃國のまちづくり」として、高速道路の延伸をバネに第一次、二次、三次産業を組み合わせた産業拠点をつくとともに、既存商店街のネットワーク化を進める。想定される事業として ●多機能型流通拠点整備事業 ●巡回ルートなど街の連携強化事業 ●インターネットを活かした交流促進モデル事業が掲げられている。なお、同計画は、平成18年度において策定する「新町総合計画」に反映される。（平成18年1月1日、中土佐町と大野見村が合併し「中土佐町」が発足） ・中土佐町土地利用計画（18年3月）では、観光産業の活性化を図ることとして、小草・休耕地の有効活用（公園）、広域交流拠点（黒潮本陣）、複合産業形成拠点（久礼新港）、歴史文化資源保存ゾーン（久礼八幡宮）、市街地防災整備促進ゾーン（久礼市街地）などが位置づけられ、安心できる生活環境の整備とともに、地域の活性化を図る。							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
久礼新港・ふるさと海岸への来客数	人／年	久礼新港への来客数と“かつお祭”への来場者数	新町での地域振興の核になる、久礼新港の利活用計画の実施による来客数をイベント等開催時の数値で把握する。	19,000	平成17年度	25,000	平成21年度
黒潮本陣への来客数	人／年	公共の湯宿「黒潮本陣」の来客数	観光交流人口の拡大に対する指標として、公共の湯宿「黒潮本陣」への来客数を把握する。	12,000	平成17年度	13,000	平成21年度
久礼地区自主防災組織の立ち上げ	地区	久礼地区自主防災組織の組織化の把握	防災対策として、避難計画等を策定する上でも重要となるのが、地域での“自主防災組織”の組織化を進めることであり、その組織化を把握する。	6	平成17年度	20	平成21年度

都市再生整備計画(清算報告)

く れ し が い ちしゅうへん
久礼市街地周辺地区

こうち なかとさ
高知県 中土佐町

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
【整備方針1】官民協働による“久礼の観光資源”を活用したまちづくり ・久礼の港周辺を観光交流人口拡大の拠点と位置づけ、高速道路の延伸による交流の波及効果を活かす施策として久礼新港の利活用計画を策定し、官民協働による“複合型産業流通拠点”づくりをおこなう。 ・黒潮本陣→久礼新港→久礼八幡宮→久礼大正町連合商店街→久礼市街地の回遊観光スポットを再編するとともに、久礼大正町連合商店街のイメージキャラクターである“くれ坊”を活用し、くれ坊人形による無人観光案内、まちあるきマップを作成する。 ・老朽化したJR土佐久礼駅前の公衆トイレを再整備し、観光の玄関口のイメージアップを図る。	方針に合致する主要な事業 ・高質空間形成施設(基幹事業／JR土佐久礼駅前公衆トイレ整備事業) ・久礼新港背後地利用計画策定(提案事業／地域創造支援事業) ・まち歩きマップ作成“くれ坊”案内編(提案事業／地域創造支援事業) ・久礼坊(人形)観光案内(提案事業／地域創造支援事業)
【整備方針2】町民の健康増進・交流のまちづくり ・子供からお年寄りまで、町民が広くふれあえる憩いの空間と、健康増進を図る場所として、また観光客等との交流が図られる場所として小草地区に「小草ふれあい公園(仮称)」を整備する。	・公園整備(基幹事業／(仮称)小草ふれあい公園整備事業)
【整備方針3】安心して暮らせるまちづくり ・高知県津波防災アセスメント調査(平成17年5月)では、久礼地区の港付近で5mを越え、市街地では2m～5mの津波予測の報告がされている。久礼市街地を中心とする計画エリアは本町人口の過半数が集中しており、次期南海地震・津波への防災対策が新町での推進する重点プロジェクトと位置付けられている。地域住民とともに、「久礼地区防災避難計画・防災マップ」等を策定し、防災意識を高め、災害から人命を守るために避難道・避難地整備事業の実施へと展開を図っていく。	・久礼地区防災避難計画策定(提案事業／地域創造支援事業)
その他 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 久礼地区でのまちづくり活動やイベント等は、これまで「商工会青年部・OB会」が中心となり、行政との協働の中で行われてきた。当事業の遂行とともに、今後のまちづくり活動を継続させるために、まちづくり活動組織となるNPO法人の設立を平成19年度において検討する。 ○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種の事業を円滑に進め目標に向けて確実な効果をあげるために、庁内でのプロジェクト体制を組み、関係団体や関係組織等と協働して事業を遂行する。また、事業計画を町民に周知させるとともに事業成果については町民に情報公開する。	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	300	交付限度額	120	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園		小草ふれあい公園	中土佐町	直	23,000㎡	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	272	272	272		272
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		—			—									
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—			—									
高質空間形成施設		—	中土佐町	直	—	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	11	11	11		11
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										283	283	283	0	283

3...A

提案事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	久礼新港背後地利用計画策定事業	久礼新港	中土佐町	直	12,000㎡	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	5	5	5		5
	まち歩きマップ作成	久礼港周辺市街地	中土佐町	直	30,000部	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	2	2	2		2
	“久礼坊”の観光案内事業	久礼港周辺市街地	中土佐町	直	3セット	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	1	1	1		1
事業活用調査	久礼地区防災避難計画策定事業	久礼地区	中土佐町	直	380ha	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	9	9	9		9
		—			—									0
まちづくり活動推進事業		—			—									0
		—			—									0
合計										17	17	17	0	17

...B

合計(A+B)	300
---------	-----

[illegible]